

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	食文化の継承と発展
事業主体 (連絡先)	地域特産品開発事業実行委員会 (長野県木曾郡王滝村 3623)
事業区分	(6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	755,352 円 (うち支援金: 592,000 円)

事業内容

王滝村に残る郷土食でもある、どんぐり文化を次の世代に継承していく為に、どんぐりの魅力を再発見し、事業性、生産性の側面からどんぐりの利用価値を探求していく。村に古くから伝わる加熱式どんぐり粉の製法のほか、非加熱式の製法も行い、安定した品質の粉から特産品を開発し、特色のある観光地づくりを目指していく。



【どんぐり粉のパウンドケーキ】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・どんぐり粉を使ってパウンドケーキを試作した
- ・試食会には 32 名が集まり、関心の高さが伺えた。村民の方から開発に関するアドバイスを頂いたり、協力してくれる方が増えた。

【目標・ねらい】

- どんぐり粉を使った試作品を作る。
- 試食会を開催し、村民のどんぐりへの関心・愛着を深める

※自己評価【 B 】

【理由】

どんぐり粉を使った試作品が出来た。試食会では多くの村民に参加頂き、関心を高められた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

どんぐり粉の水分量やあくぬきに課題が残っており、今後も研究を続けていきたい。昔ながらの食文化の再興をはかり、どんぐり粉を利用した商品の可能性を探究していくと共に、食を通じた特色のある観光地づくりに寄与したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある